



日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

----- 日本獣医師会学会からのお知らせ -----

教育講演 「学術論文を執筆するに当たって」

本企画では日本獣医師会雑誌投稿論文のさらなる質の向上を期待するとともに本誌投稿推進を図るために、投稿規程の遵守や投稿する際の基本的な教育講演を行います。

日時：平成26年2月23日(日)

13:00～15:10

場所：幕張メッセ(国際会議場)

2階中会議室201(定員100名)

開催：公益社団法人 日本獣医師会



教育講演「医学論文との取組み方」

西村昌数

獣医学術学会誌編集委員会副委員長

獣医学学位取得者からのメッセージ

(I) 蓮沼 浩

シェパード中央家畜診療所所長

(II) 永野慎一

折尾動物病院

(III) 田原研司

島根県出雲保健所環境衛生部衛生指導課

平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉)のお知らせ

○平成25年度 日本獣医師会獣医学術賞の発表と授与

平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉)の開催期間中、平成25年度 日本獣医師会獣医学術賞の発表と授与式を行います。

受賞対象者の方をはじめ、皆様、是非ご参加ください。

日時：平成26年2月22日(土) 13:15(予定)

場所：幕張メッセ

○獣医学術学会年次大会ホームページのご案内

平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉)のホームページには、特別企画の内容を掲載しているほか、一般申込演題(一般口演、研究報告、地区学会長賞受賞講演)のプログラムが決定次第、順次掲載します。

そのほか、随時、内容を更新してまいりますので、是非一度お立ち寄りください。

【平成25年度獣医学術学会年次大会(千葉)HP】

<http://jvma2014.umin.jp>

【お詫びと訂正】

第66巻第11号（平成25年11月号）に掲載された，小動物臨床関連部門 原著「犬の卵巣子宮摘出術におけるマロピタントによるイソフルラン要求量の減少及び嘔吐抑制効果」につきまして，下記のとおり訂正いたします。

このたびは掲載後に原稿を訂正することにつきまして，著者に深くお詫び申し上げますとともに，今後，このようなことの生じないよう十分留意してまいります。
日本獣医師会獣医学術学会誌編集委員会

記

- P.801 要約
 4行目 「平均イソフルランMAC」 → 「平均イソフルラン要求量」
 5行目 「1.34 ± 0.10」 → 「1.74 ± 0.13 %」
 「1.48 ± 0.08」 → 「1.91 ± 0.12 %」
- P.802 材料及び方法
 左段 45行目 「(1.56MAC)」 → 削除
 右段 44行目 「イソフルランMAC」 → 「イソフルラン要求量」
- P.803 成績
 表2を下表と差し換え
 右段 5～6行目 「イソフルランの平均MACは」 → 「イソフルラン要求量の平均は」
- 6行目 「1.48 ± 0.08」 → 「1.91 ± 0.12 %」
 7行目 「1.34 ± 0.10」 → 「1.74 ± 0.13 %」
 8行目 「MAC」 → 「イソフルラン要求量」
- P.804 考察
 左段 28行目 「平均イソフルランMAC」 → 「平均イソフルラン要求量」
- P.806 SUMMARY
 6～7行目 「isoflurane MAC」 → 「isoflurane requirement」
 7行目 「1.34 ± 0.10」 → 「1.74 ± 0.13 %」
 「1.48 ± 0.08」 → 「1.91 ± 0.12 %」

表2 イソフルラン要求量の推移

	手術経過時間 (分)						手術平均
	0	10	20	30	40	50	
MOR	2.00 ± 0.00	1.97 ± 0.09	1.96 ± 0.10	1.89 ± 0.15	1.84 ± 0.10	1.83 ± 0.09	1.91 ± 0.12
MOR-MAR	2.00 ± 0.00	1.86 ± 0.10	1.76 ± 0.10*	1.71 ± 0.06*	1.64 ± 0.07*	1.59 ± 0.09*	1.74 ± 0.13*

数値は平均値 ± 標準偏差%で示した。*は，MOR群との有意差 (P<0.05) を示す。